

令和7年度予算のあらまし

一般会計は、社会保障関係費や施設整備費の増加などにより、前年度比276億円増の6,757億円と、当初予算では4年連続で過去最大規模となりました。

また、特別会計は、公債管理特別会計における公債費の増加などにより前年度比129億円増加、企業会計は、ガス事業における原料費の減少などにより前年度比8億円減少し、一般会計・特別会計・企業会計を合計した市全体の予算規模は1兆2,633億円と、引き続き1兆円を超える規模となりました。

歳入 市税や地方交付税などが増加

市税収入は、定額減税の終了や給与所得などの増加による個人市民税の増加、土地に係る負担調整措置による固定資産税の増加などにより、167億円増加しました。また、地方交付税は、普通交付税の増加などにより、47億円増加しました。

歳出 義務的経費・投資的経費ともに増加

【目的別】 保育施設への給付費などが増加した健康福祉費が2,578億円（38.2%）となり、最も大きな割合を占めました。次いで、教育情報ネットワーク運営に係る経費などが増加した教育費が1,176億円（17.4%）、総務費が669億円（9.9%）、土木費が617億円（9.1%）となりました。

【性質別】 人件費、社会保障関係費などの扶助費、借入金の返済である公債費を合わせた義務的経費は、子育て関連の事業費の増加などにより、前年度に比べて66億円の増加となりました。また、投資的経費は、市役所本庁舎の建替事業費のほか、スポーツ施設整備費の増加などにより、前年度に比べて79億円の増加となりました。

世界から選ばれる「仙台」の実現に向けた重点的な予算配分

本市の財政は、市税収入が増加傾向であり、主要一般財源全体としてもおおむね堅調に推移する見通しであるものの、歳出面では、社会保障関係費や公共施設の長寿化対策費の増加が見込まれるなど、歳出の伸びが歳入の伸びを上回る状況が続く見通しであることから、将来にわたり持続可能な財政基盤の確立が重要となります。

このような中、本年度においては、誰もが力を発揮できるまちづくりを進め、世界から選ばれる「仙台」を実現するため、「多様なひとの力が生きるまち」、「こどもたちが健やかに育つまち」、「ひとが輝く舞台となるまち」の3つの柱を基軸に予算配分を行い、各般の施策に取り組んでいきます。

予算についてのお問い合わせは
 財政企画課 ☎214・8111、FAX262・6709、
 または市ホームページ [仙台市の財政](#)

- 一般会計…特別会計、企業会計以外の全ての歳入・歳出を経理。行政運営の基本的な経費を計上する会計
- 特別会計…国民健康保険や介護保険など、その事業に要する経費が保険料など特定の収入で原則賄われる会計
- 企業会計…民間企業と同じように原則としてサービスの提供で収益を上げ、その収益で費用を賄う事業の会計。仙台市には下水道、バス、地下鉄、水道、ガス、病院の各事業があります

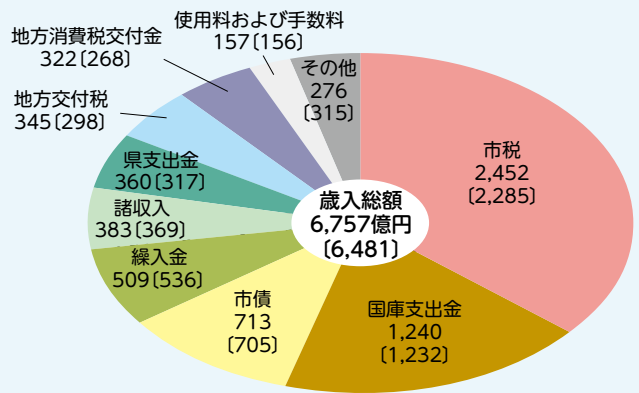
令和7年度の会計別の予算規模

| | 令和7年度（前年度比） |
|------|--------------------|
| 一般会計 | 6,757億円（276億円増加） |
| 特別会計 | 3,309億円（129億円増加） |
| 企業会計 | 2,567億円（8億円減少） |
| 合計 | 1兆2,633億円（397億円増加） |

歳入内訳（一般会計）

（単位：億円）

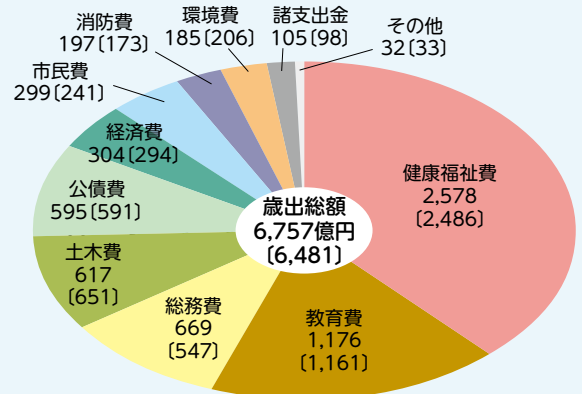
※〔 〕内の数字は令和6年度当初予算の金額



【目的別】歳出内訳（一般会計）

（単位：億円）

※〔 〕内の数字は令和6年度当初予算の金額



【性質別】歳出額（一般会計）の推移

（単位：億円）

